

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.16 2012年10月7日

背後にあつての皆様のお祈りとご支援に心から感謝します。例年以上に暑く長い夏が続く中、多くの方々が岩手まで支援に駆け付けて下さいました。広い岩手であまり大きなことはできませんが、「本物を小さく」ということばを合言葉に、与えられた出会いを大切にしながら、人々と地域に丁寧に関わり続けています。今後ともお祈りとご支援を宜しくお願い致します。

**OMF岩手支援
プロジェクト
“いっぽいっぽ
釜石・大槌”が始動
釜石・大槌地区
高橋和義**



**「着物を
着たい！」**

**宮古・田老地区
松井博子**



5月、ボランティアセンターとなる土地・建物を購入以来、ずっとリフォーム作業をしてきましたが、リフォーム期間中も、団体の自己紹介も兼ねて、様々な方々、団体と面談をさせていただきました。8月から少しずつ、ボランティアをお迎えして支援活動を始めています。

私たちは、子どもの勉強や心のケアのための支援活動を継続的にしていきたい願いをしていますが、面談をしていくうちに、大槌の仮設団地で長期的に子どもたちの放課後プログラム（勉強、おやつ、ゲーム）をして欲しいという依頼を受けました。ご相談の結果、9月から大槌の8～9箇所の仮設団地で放課後プログラムを開始しました。仮設団地ごとに状況がまったく違うので、かなり柔軟な対応が求められています。一回り回り終わると、どこでどんなことをやったらいいか、少し見えてくるでしょう。

釜石では、まだ子どもたちのためのプログラムは始まっていませんが、お茶っこサロンを開始しました。お料理や手芸やリズム体操など魅力的な内容が行われていることを耳にしますが、私たちはそういうことは出来ず、飲み物に手作りお菓子、私のギター伴奏で合唱、ボランティアチームのお得意を活かしたものという地味な内容ですが、お話しを聞くという基本を大事にしていこうと思っています。

他に月に1回、“いっぽいっぽ釜石・大槌”のご近所の方々のためのお茶っこをしています。少数ですが同じ顔ぶれが集まって下さっています。

いつも、皆様のお祈りを心から感謝いたします。昨年より、仮設住宅の集會室や談話室をお借りして、カフェを中心にいろいろなイベントをさせて頂きましたが、最近は多くの方を対象にしたイベントより、個人にそった支援へと変わりつつあります。

一人のご婦人との出来事をお知らせしたいと思えます。震災でお姉さんを亡くされ、うつ状態が続き今も薬を飲んでいます。

夏のある日、シアトルからボランティアに来られた牧師先生から「今したいことありますか？」と問われると「着物を着たい！」と答えられました。大好きな着物はすべて流されたとのこと、今までは生きるので精いっぱい着物のことを考えることがなかった。ようやく着物を着てみたいと思うようになったと……。シアトルに帰られた先生は、フェイス・ブックで呼びかけてくださり、日本の各地からホクミンハウスに着物が届けられました。

早速見て頂こうと連絡すると、前日に従姉妹の方が亡くなりとても着物を見る気にならないとの返事でした。いつまで悲しみが続くのかと思ひ只慰め癒しがあるようにと祈っていました。

1週間後に連絡が来て、着物を見て頂きました。3点の着物と小物と1つの反物を選ばれました。その様子からとても着物がお好きなのが伝わってきました。神様の慰めを感じました。



ポーラ・スタッフ、大船渡での働き終了

昨年の10月より現地スタッフとして、主に大船渡地区でご奉仕下さったポーラ・スタッフ（愛称「ポー先生」）が働きを終えて、東京での新たな働きへと向っていかれました。人々との丁寧な関わりを通して地域との信頼関係を築き、大船渡ベースの基礎を築くために大きな貢献をして下さいました。ありがとうございました。（写真右端がポーラ・スタッフ）

「クラッシュ・ジャパン一関」から引き継ぎ

一関市千厩に拠点をおいて一年半に渡って被災地に関わって下さった支援団体「クラッシュ・ジャパン一関」がこの9月をもちまして働きを終了することに。その働きを3.11いわて教会ネットワークが引き継ぐことになりました。クラッシュ・ジャパンが借り受けている建物や所有している備品類を引き継ぎ、また、岩手に残る松本英美子スタッフにネットワークの新スタッフとして10月から加わっていただきました。今後の一関・気仙沼地区における働きのためにもお祈り下さい。

3.11いわて教会ネットワーク 2012年度上半期決算報告

伝票期間：2011年03月11日～2012年09月10日（上半期決算仕訳）

収入の部			支出の部		
科目	適用	金額	科目	適用	金額
一般収益	一般献金	3.11献金	支援活動費	人件費	短期/長期スタッフ支援
		¥3,781,575		支援物資	支援物品・支援食材
特別収益	人件費指定献金	スタッフ給与支援指定		支援献金	現地教会サポート献金
	支援ベース指定献金	支援ベース維持管理費支援指定		活動費	活動諸費用
		¥1,340,000		<活動費合計>	¥862,035
		¥1,504,000			¥5,329,220
雑収入	預金利子	ゆうちょ銀行	活動管理費	住宅費	支援ベース修繕費、家賃、水道光熱費
		¥712		会議費	3.11いわて会議費
前期繰越金		¥15,499,426		福利厚生費	スタッフ医療費、スタッフリポート費用
				事務通信費	各報告集費用、出版物購入配布費用
				広告宣伝費	ガソリン、修繕、保険
				車両関係	各ベース備品、活動備品
				備品	
				<活動管理費合計>	¥6,405,433
			特別基金	人件費支援基金	スタッフ給与
				ベース支援基金	支援ベース仕様諸費用
			利益剰余金	次期繰越金	繰越剰余金
				<活動資産残高>	¥10,391,060
収入の合計		¥22,125,713	支出・残高の合計		¥22,125,713

7～9月に支援活動に従事して下さいました諸団体、諸教会

東京キリスト教学園、台湾更正チーム、聖約キリスト教団、同盟基督教団、厚別キリスト教会、札幌福音館、札幌福音自由教会、OMF、七飯教会、玉川聖学院、関西福音自由教会チーム、合同教会、こひつじチャペル、JECA 北海道、JECA 北関東、八戸福音キリスト教会、K G K、キリスト伝道隊、宮古コミュニティ・チャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、北上聖書バプテスト教会、水沢聖書バプテスト教会
 （その他、個人としてチームに合流し、支援活動にあたって下さった方々がおられます。）

一つ一つのご奉仕、ご支援に、心から感謝致します。